

副次効果評価調査

主要目標番号	- 1. (2)	主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標	災害に強い道路の確保				
評価対象地区・箇所名	(主)南アルプス公園線				
主要目標項目	- 1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上	注		1
		(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	注	道路改良率: 67.7% > 59.7%未達 混雑時走行速度: 20km/h < 30km/h以下	
		(3) 市街地内の交通の円滑化			
		(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	注		
	- 2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上			
		(2) 憩い空間の創出			
		(3) 生活排水処理機能の向上			
		(4) 良好な市街地空間の確保			
		(5) 適正な居住空間の確保			
		(6) 歩行者等の通行空間の確保			
		(7) 道路景観の向上			
	- 3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上			
		(2) 農業生産力の向上			
		(3) 農業用排水能力の向上			
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)			
		(5) 森林整備の効率化			
	- 1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保			
		(2) 災害に強い道路の確保			
		(3) 都市災害防止			
		(4) 交差点の安全性・円滑性の向上			
	- 2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止			
(2) 土石流被害の防止					
(3) 崖崩れ被害の防止					
(4) 地滑り被害の防止					
- 3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減				
副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化			1
		アクセス機能の維持		(主要地と観光地を結ぶアクセス道であり、1-2箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる道路)	
		主要渋滞ポイントの解消			
	生活環境	水質の浄化			
		大気汚染の軽減			
		騒音・振動の軽減			
		良好な景観の創出			
		バリアフリー化の促進			
		ライフラインの強化			
		身近な緑地・交流の場の提供			
		飲雑用水の安定供給			
		糞尿の処理			
		地域の文化・学習等活動の支援			
	各種情報の円滑な提供				
	自然環境	水源涵養機能の向上			
		生態系空間の再生			
	事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保			
		緊急時の避難・救助機能の確保			
		被災時の被害波及の防止			
		既存施設の崩壊危険性の排除			
	生産性	林業生産力の向上			
遊休農地の解消					
新たな公共用地の創出					
農地の保全					
その他	農林産物の販売促進				
	自然エネルギーの活用				
	リサイクルの推進				
	文化・歴史的資源等の保存・復元				
	他事業との一体施工				
	重要プロジェクトとしての位置づけ				
				副次効果 評点合計	2

注1) 主要目標に対応する副次効果項目の欄に “ ” が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所想定される副次効果」の欄に “ ” を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。
 注3) 「 - 1. (1)歩行者等の安全性の確保」、「 - 1. (2)災害に強い道路の確保」、「 - 1. (4)交差点の安全性・円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価に当たり、「 - 1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。

副次効果評価調査

主要目標番号	- 1. (2)	主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標	災害に強い道路の確保				
評価対象地区・箇所名	(主)笛吹市川三郷線(畑熊)				
主要目標項目	- 1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上	注		2
		(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	注	道路改良率 58% < 59.7%未満 混雑時走行速度 20km/h < 30km/h以下	
		(3) 市街地内の交通の円滑化			
		(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	注		
	- 2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上			
		(2) 憩い空間の創出			
		(3) 生活排水処理機能の向上			
		(4) 良好な市街地空間の確保			
		(5) 適正な居住空間の確保			
		(6) 歩行者等の通行空間の確保			
		(7) 道路景観の向上			
	- 3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上			
		(2) 農業生産力の向上			
		(3) 農業用排水能力の向上			
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)			
		(5) 森林整備の効率化			
	- 1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保			
		(2) 災害に強い道路の確保			
		(3) 都市災害防止			
		(4) 交差点の安全性・円滑性の向上			
- 2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止				
	(2) 土石流被害の防止				
	(3) 崖崩れ被害の防止				
	(4) 地滑り被害の防止				
- 3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減				
副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化			1
		アクセス機能の維持		集落と集落を結ぶアクセス道であり、1箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる道路)	
		主要渋滞ポイントの解消			
	生活環境	水質の浄化			
		大気汚染の軽減			
		騒音・振動の軽減			
		良好な景観の創出			
		バリアフリー化の促進			
		ライフラインの強化			
		身近な緑地・交流の場の提供			
		飲雑用水の安定供給			
		糞尿の処理			
		地域の文化・学習等活動の支援			
	各種情報の円滑な提供				
	自然環境	水源涵養機能の向上			
		生態系空間の再生			
	事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保			
		緊急時の避難・救助機能の確保			
		被災時の被害波及の防止			
		既存施設の崩壊危険性の排除			
生産性	林業生産力の向上				
	遊休農地の解消				
	新たな公共用地の創出				
	農地の保全				
その他	農林産物の販売促進				
	自然エネルギーの活用				
	リサイクルの推進				
	文化・歴史的資源等の保存・復元				
	他事業との一体施工				
	重要プロジェクトとしての位置づけ				
				副次効果 評価合計	3

注1) 主要目標に対応する副次効果項目の欄に “ ” が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所想定される副次効果」の欄に “ ” を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。

注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。

注3) 「 - 1. (1)歩行者等の安全性の確保」、「 - 1. (2)災害に強い道路の確保」、「 - 1. (4)交差点の安全性・円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価に当たり、「 - 1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。

副次効果評価調査書

主要目標番号	- 1. (2)	主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標	災害に強い道路の確保				
評価対象地区・箇所名	国道139号(余沢(期)工区)				
主要目標項目	- 1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上	注		1
		(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	注	道路改良率 56.5% < 59.7%未滿 混雑時走行速度 41.4km/h > 30km/h以下	
		(3) 市街地内の交通の円滑化			
		(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	注		
	- 2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上			
		(2) 憩い空間の創出			
		(3) 生活排水処理機能の向上			
		(4) 良好な市街地空間の確保			
		(5) 適正な居住空間の確保			
		(6) 歩行者等の通行空間の確保			
		(7) 道路景観の向上			
	- 3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上			
		(2) 農業生産力の向上			
		(3) 農業用排水能力の向上			
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)			
(5) 森林整備の効率化					
- 1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保				
	(2) 災害に強い道路の確保				
	(3) 都市災害防止				
	(4) 交差点の安全性・円滑性の向上				
- 2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止				
	(2) 土石流被害の防止				
	(3) 崖崩れ被害の防止				
	(4) 地滑り被害の防止				
- 3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減				
副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化			1
		アクセス機能の維持		集落間を結ぶアクセス道路であり、1-2箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる道路	
		主要渋滞ポイントの解消			
	生活環境	水質の浄化			
		大気汚染の軽減			
		騒音・振動の軽減			
		良好な景観の創出			
		バリアフリー化の促進			
		ライフラインの強化			
		身近な緑地・交流の場の提供			
		飲雑用水の安定供給			
		糞尿の処理			
	地域の文化・学習等活動の支援				
	自然環境	各種情報の円滑な提供			
		水源涵養機能の向上			
環境	生態系空間の再生				
	事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保			
緊急時の避難・救助機能の確保					
被災時の被害波及の防止					
既存施設の崩壊危険性の排除					
走行安全性の確保					
生産性	林業生産力の向上				
	遊休農地の解消				
	新たな公共用地の創出				
	農地の保全				
その他	農林産物の販売促進				
	自然エネルギーの活用				
	リサイクルの推進				
	文化・歴史的資源等の保存・復元				
	他事業との一体施工				
	重要プロジェクトとしての位置づけ				
副次効果 評価点合計					2

注1) 主要目標に対応する副次効果項目の欄に “ ” が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所想定される副次効果」の欄に “ ” を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。

注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。

注3) 「 - 1. (1)歩行者等の安全性の確保」、「 - 1. (2)災害に強い道路の確保」、「 - 1. (4)交差点の安全性・円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価に当たり、「 - 1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。